

SAKUらいぶ71号



図書館だより

平成28年12月号

作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 図書館

[内容]

- ・環境からの制限
- ・あなたのページ
- ・これキテます!
- ・らいぶ Question
- ・図書館閉館カレンダー

環境からの制限

作新学院大学人間文化学部 准教授 狐塚貴博

「もう閉館しますよ…」、「…あっ、はい、すいません…」。
何をしていたのかについてはまったく思い出せませんが、私の学生時代に図書館でよくしたやりとりです（遠い昔ではないはず…）。図書館が好きでした。高い天井やほどよい明るさの照明、強迫的ともいえるほどよく整理された蔵書の数々、広々とした机、ひそひそ話が聞こえる程度の静かな空間。それらは、喧噪を帯びた日常とはかけ離れた世界のようになんとも居心地が良い環境でした（よく眠れる、と言いたいわけではない）。

私は心理学という学問領域にかろうじてとどまり、人間のコミュニケーションと行動、感情、ものの見方などとの関係を考えています。そして、心理学では“性格”に代表されるように個人の内側にある“こころ”でそれらを説明することが多いように思います。やる気、積極性、集中力など。しかし、そういった私たちの行動は、“こころ”から湧き出るものだけではなく、環境からさまざまな影響を受けています。例えば、みなさんの多くは、神寺仏閣に足を運んだことが一度はあるかと思えます。そのような場所で、大声でさわぐ、笑う、走りまわるといった行動ができるにも関わらず、みなさんは静粛に努めようとする。私たちはそのような場所で、さまざまな行動ができるはずですが、行動の選択肢が環境によっていくつかに制限されてしまう。個人のモラルといった説明もありますが、置かれた環境により行動のレパートリーが減らされ、その中から“静かに慎む行動”を選択した、という説明もできるはずです。つまり、環境が私たちに「どのように振る舞うか」という情報を提供している、といっても過言ではありません。

やる気が出ないとき、集中したいとき、創造したいとき、学習する場所を変え、環境の力を借りてみてください。文頭に書いた図書館の環境を思い出し、図書館に足を運んでみてはどうでしょう。その環境はみなさんにどのような情報を提供しているのか体感してください。

あなたのページ

…学部生からの投稿です…



「月の影 影の海」を読んで

人間文化学部 3年 渡邊美桜

女子高生がある日突然、美形の男に連れ去られ異世界へ行く——これだけを聞くと少女向けの物語だと感じるかも知れませんが、この本には細かく作りこまれた独特な世界が広がっています。主人公は剣一本を持たされ、何もわからない世界を旅することになります。行く先々で「海客」(異世界から来た人間の名)として差別や搾取に遭い、怪物からは命を狙われ、遂には人間不信に陥りながらも男を探すために進みます。そんな彼女を手助けする人物も現れます。

私はこの本を読んで、主人公の、どんな絶望的な状況でもくじけない姿に感動を覚え、諦めないことの大切さを知りました。諦めなかった主人公が信頼できる仲間巡りに巡り会えた時は嬉しくなりました。

私は、小説の良いところは、物語の場面や人物の心情を想像しながら読めるところだと思います。

ぜひみなさんも図書館で面白い本を見つけてみてください。

「月の影 影の海」 小野不由美 著 新潮文庫

SAKUらいぶでは、学生のみなさんからの投稿を募集しています。

本を読んだ感想、学生生活で頑張っていること、日ごろ考えていることなどを400字程度でお書きください。掲載された方には図書館より記念品を贈呈いたします。



これキテます！

噂にフオーカス

若冲の世界をのぞいてみよう。

伊藤若冲。「いとうじゃくちゅう」と読みます。江戸時代に活躍した日本画家です。今年が生誕 300 年を記念してあちらこちらで展覧会が催されました。

若冲の絵を見て最初に思うことは、なんて綺麗な色なんだろうということかもしれません。動物画や植物画が数多く残されていますが、その鮮やかでつややかな色彩には目を奪われます。これは若冲が、とにかく美しい色で描くことを心掛けたことと、後世に遺すために懇意にしていた相国寺に寄進したことによるといわれています。また高価な画材を使える経済的な理由があったからでしょう。

次に感じることは、構図はダイナミックでありながら、筆使いが繊細だということでしょうか。鳥の羽一本一本、花びらの先の先まで描く精密さが独創的な世界を生み出しています。

若冲の作品にはユニークなものもあります。たとえば「群魚図」には 35 種類もの魚が登場しますが、それぞれが愛らしく、特に親ダコの足に子ダコがしがみついている様などは、微笑まずにはられません。また「白象群獣図」は“柵目描き”と呼ばれる手法を用いています。画面に細かな柵目をつくり、その一つ一つに絵具を置いていくものです。今でいうドット絵です。オリジナリティにあふれ、デジタルでクールな表情を見せています。

一目見たら忘れられない伊藤若冲の絵。展覧会に行けなくても図書館所蔵の本で十分楽しむことができます。どうぞその世界に触れて、美しさに酔いしれてください。

このコーナーでは巷で噂になっている、本やアートについて紹介します。

らいぶ Question

忘年会

園田英弘 著 385.9/So より

忘年会は、社会習慣として毎年繰り返される七夕やお盆などの年中行事とは異なっている。それらは、祭りとしての意義付けや、(①)される時期がかなり特定されているからである。しかし、別の(②)をすると、生活者が自発的に(③)取る行事である忘年会は、現代的な性格をいち早く獲得した、独自の年中行事の一つといい得るかもしれない。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。

全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。



インフォメーション

1月16日(月)より27日(金)は、後期試験に伴い開館時間を9:00～18:45とします。

試験勉強やレポート作成に、どうぞ図書館をご利用ください。

開館カレンダー 2017年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□ 9:00～18:00 □ 9:00～13:30

□ 休館日 □ 9:00～18:45

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

Tel 028-670-3651・3652

Fax 028-670-3619

E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)

URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

